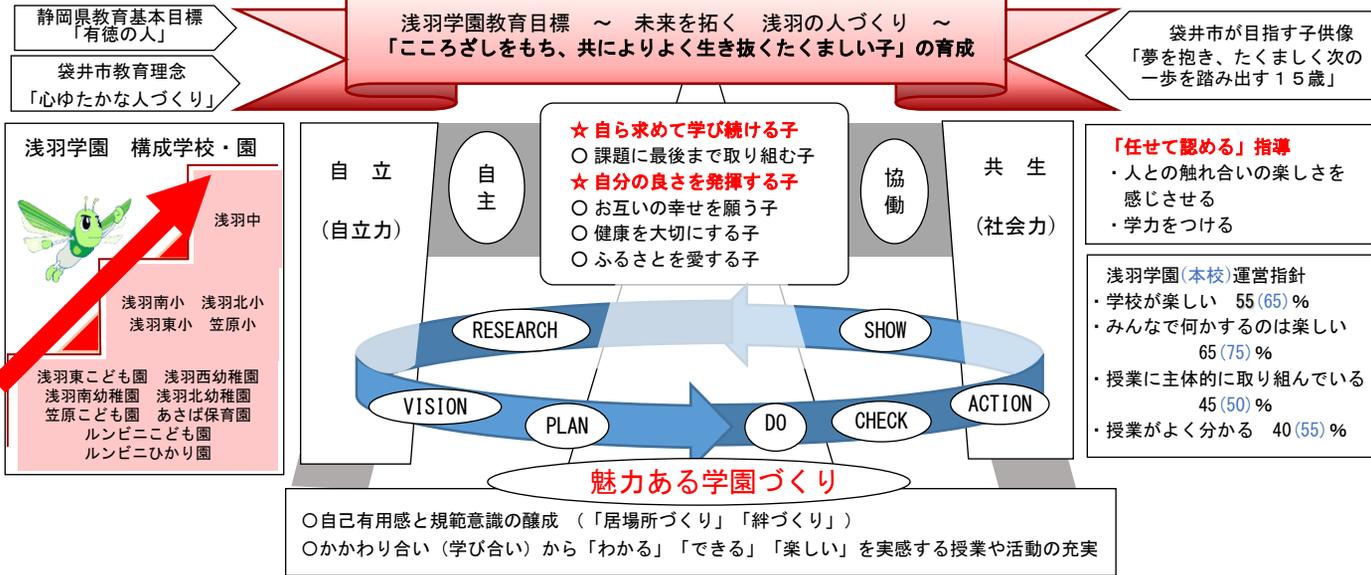


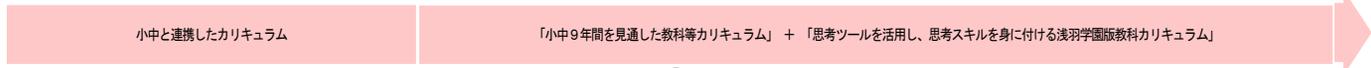
# 令和5年度 浅羽学園浅羽北小学校グランドデザイン



## 浅羽学園教科外カリキュラム

	前期 (年少・年中・年長)	中前期 (小学1・2・3年)	中後期 (小学4・5・6年)	後期 (中学1・2・3年)
<b>生活指導</b>	<b>よりよい自分</b>			
	生活に必要な行動をしている	相手を意識した言動をしている	時と場にあった言動をしている	先を見通した適切な言動をしている
<b>学習指導</b>	<b>自ら学び続ける子</b>			
	試したり、考えたりして楽しく遊んでいる	興味・関心をもち、進んで学んでいる	自分の考えをもち、課題解決を通して、学びを深めている	見通しをもって、粘り強く学習を進めている
<b>特別活動</b>	<b>他者とのかかわり</b>			
	自分のしたいことや思いを出そうとしている	自分のしたいことや思いを言葉でつたえようとしている	自分の思いをもって、考えて行動している	自分だけでなく、他者の考えも含めて行動している
<b>健康安全</b>	<b>健やかな体づくり</b>			
	体や健康に関心をもち、元気に生活をしている	健やかな体をつくるために、何が必要かわかり、生活に取り入れている	健やかな体をつくるために、ないが必要か理解し、自らの生活を振り返り改善している	健やかな体に成長した自分をイメージし、そのために必要なことを選択して実践している

## 浅羽学園教科等カリキュラム



**浅羽北小学校 重点目標 「自立～気づき・考え・実行～」する子の育成**

**学校経営目標 自分で考え 共に考え合い みんなが笑顔になれる学校 ～「任せて認める」指導を通して～**

学びづくり	心づくり	体づくり
<p><b>考え、考え合い、学びを実感する子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「分かった」「できた」につながる課題設定と考える場の確保</li> <li>考え合うよさが実感できる協働的な学び</li> <li>学びの実感を得る振り返りの場の設定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業がよく分かる」55%</li> <li>○ 「めあてに対する自分の考えをもち(表す)ことができた」60%</li> <li>○ 「友達と考え合うことで、自分の考えを深めることができた」55%</li> <li>○ 「めあてに対して分かったことや学んだことを自分の言葉で振り返ることができた」55%</li> </ul>	<p><b>自分も友達も大切にする子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己有用感・自己肯定感を高め、安心して過ごせる居場所づくり</li> <li>自主性・社会性を高める絆づくり</li> <li>一人一人を尊重して寄り添う心の教育</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分にはよいところがある」55%</li> <li>○ 「学校が楽しい」65%</li> <li>○ 「みんなで何かをするのは楽しい」75%</li> <li>○ 「優しい心をもって友達に接する」60%</li> </ul>	<p><b>心もからだも元気に生活する子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>たくましく生きるための体力の向上と運動の楽しさが実感できる体育指導</li> <li>自分の健康に関心をもちつことが出来る保健指導・食育指導</li> <li>命を守るために頭と体を通して学ぶ防災教育・安全指導</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「めあてに向かって運動する」60%</li> <li>○ 「みんなで何かをするのは楽しい」75%</li> <li>○ 「健康的な生活をしている」50%</li> <li>○ 「好き嫌いをせずに食べる」50%</li> <li>○ 「命を守るための行動をする」70%</li> </ul>

## 地域と協働する学校づくりと「チーム浅北」

**コミュニティスクール**

- 地域の資源(人・もの・こと)を活用した教育課程
- 学校運営協議会の意見の反映とボランティアの活用
- 開かれた学校づくり  
(目指す子供像の共有・教育活動の積極的発信)
- P.T.A親子ふれあい活動と「浅羽学園の人づくり」の活用

**働き方改革**

- SC・SSW・外部機関との連携による相談支援体制づくり
- スクールサポートスタッフやボランティア活用による業務削減
- ペーパーレス化・デジタル化による業務削減
- 定時退庁日・かえるボードの活用によるマネジメント
- 健康づくり支援事業やストレスチェックの活用